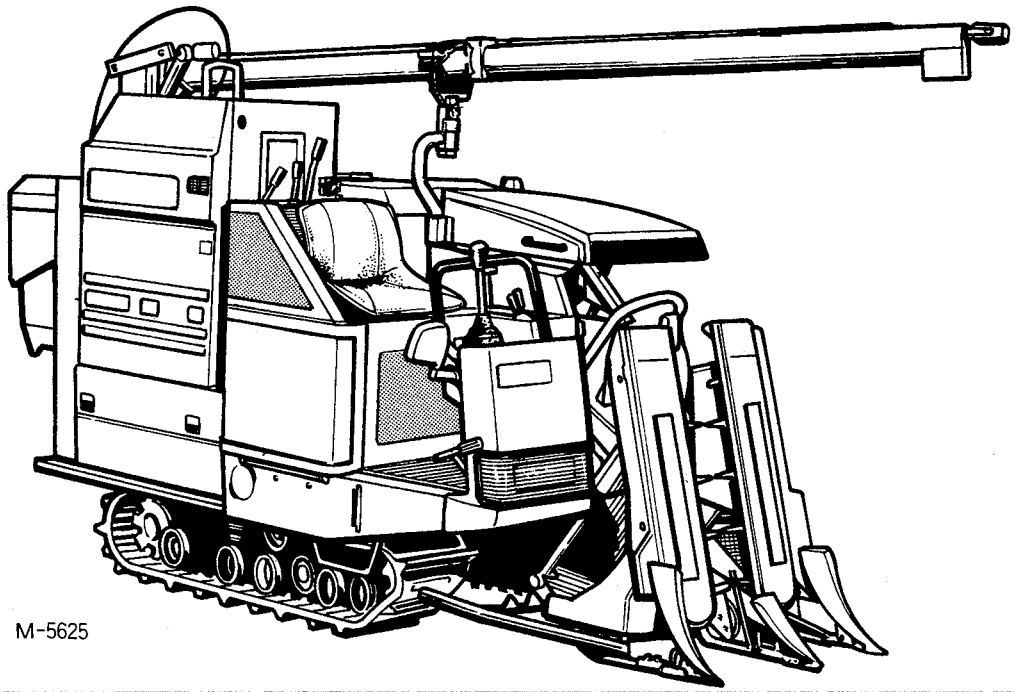
クボタコンバイン

取扱説明書

スカイロードエース グレンタンク

R1・131AG 151AG 171AG 191AG 211AG



M-5625

安全宣言
安全はクボタの願い

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は，グレンタンク仕様機について，特に異なる部分の取扱方法，簡単な点検及び手入れについて説明してありますのでその他の説明については，別冊の取扱説明書をご覧ください。（別冊と異なる部分は，必ずこの取扱説明書を優先してご活用ください。）
この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいてじゅうぶん理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの販売店に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ **警　告**：注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ **注　意**：注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。

重　要：注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

本製品の使用目的について

本製品は，稲・麦の刈取り・収穫用の作業機としてご使用ください。
使用目的以外の作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。

目　次

⚠安全に作業するために …… ⚠-1

1．安全作業をするため次のことがらを必ず守ってください。 …… ⚠-1
2．⚠表示ラベルと貼付け位置 …… ⚠-2
3．⚠表示ラベルの手入れ …… ⚠-4

サービスと保証について …… 1

トラックへの積込み，積降し，道路走行，あぜ越え …… 2

刈取り作業 …… 3

刈取り作業前の点検・準備 …… 3
刈取り作業中の注意事項 …… 4

排出作業 …… 5

排出のしかた …… 5
こく粒排出量の調節 …… 6

アンローダを延長するとき(オプション) …… 7

脱こく機の点検をするとき …… 8

グレンタンクを開放するとき …… 8

保守点検 …… 11

掃除口の箇所 …… 11
グレンタンクを降ろす場合 …… 12
組付けするときの注意事項 …… 12
グレンタンク駆動ベルトの張り調整 …… 13
各部グリースの補給 …… 14

付　表 …… 15

主要諸元 …… 15
標準付属品 …… 16
特別付属品(別売) …… 16
主な消耗部品一覧表 …… 16

52330-8542-4

⚠ 安全に作業するために

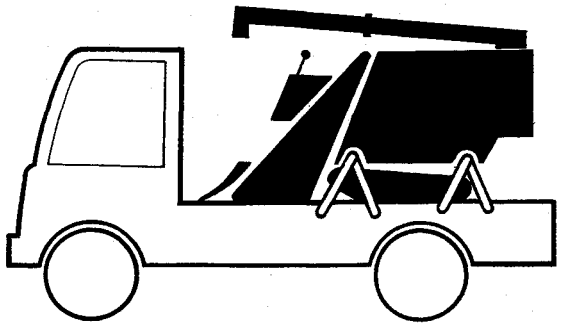
必ず読んで
ください。

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業していただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠ 警 告 ・⚠ 注 意 ・ 重 要 としてそのつど取上げています。

1．安全作業をするため次のことがらを必ず守ってください。

道路走行の注意

■このコンバインは，“道路運送車両法”に適合しないので公道を走ることができません。移動するときはトラック輸送してください。

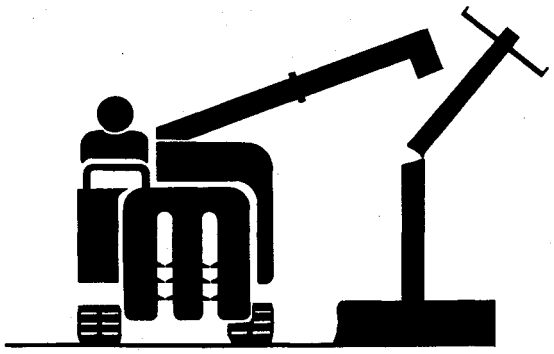


M-6536

トラック輸送・移動走行時の注意

■アンローダは，下側にセットしたアンローダささえに収納しバンドをかけて浮上りを防いでください。

●延長アンローダは折りたたんでください。



M-6225

⚠ 安全に作業するために

2．⚠表示ラベルと貼付け位置

①品番　58071-8173-1

⚠ 注意		
	1.手をはさみ，けがをするおそれがあるので，アンローダササエの上に手を置かないこと。	2.アンローダ先端が大きく動き，けがをするおそれがあるので，アンローダの作用範囲に人がいるときは，アンローダを動かさないこと。

②品番　53690-3129-2

⚠ 注　意

中に回転物がありケガをするおそれがあるので、運転中は絶対に手を入れないこと。

③品番　58071-8172-1

⚠ 注意

あぜ越え・移動時およびトラックで輸送する場合、アンローダが人・物にぶつかる危険があるので下記を守ること。

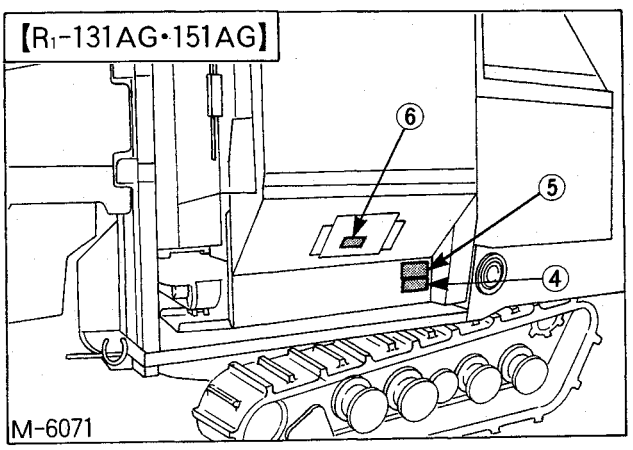
1. **アンローダササエを下げてセットする。**
2. **アンローダを収納する。**
3. **延長アンローダの場合は折りたたむ。**
4. **アンローダが浮き上がらないようにバンドで固定する。**

④品番　58071-8171-1

⚠ 注　意

グレンタンクをオープンするときは、ベルトに手をはさまれたりタンクに身体がはさまれるおそれがあるので、「もみ」を排出し、平坦な場所で停止しエンジンを必ず止めること。

【R1-131AG・151AG】

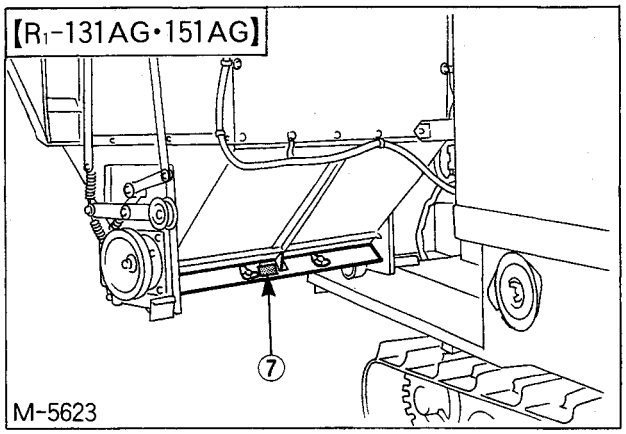


⑤品番　53981-6432-1

⚠ 注　意

**中に回転物がありケガをするので、
点検・調整時はエンジンを必ず止めること。
点検・調整後はカバーを必ず取付けること。**

【R1-131AG・151AG】

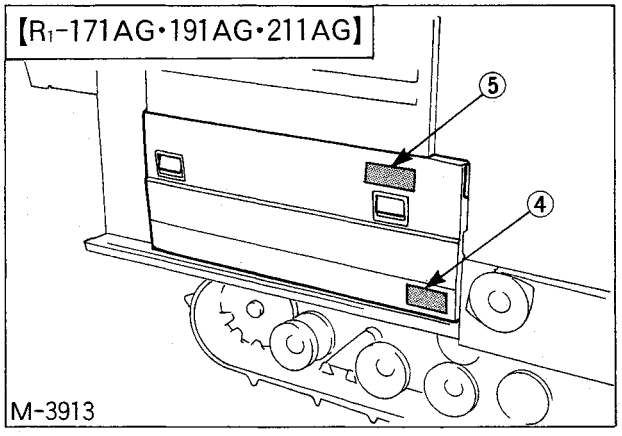


⑥品番　53690-3129-2

⚠ 注　意

中に回転物がありケガをするおそれがあるので、運転中は絶対に手を入れないこと。

【R1-171AG・191AG・211AG】



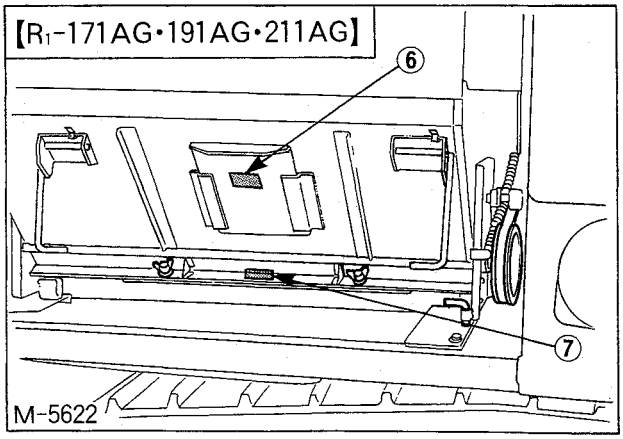
⑦品番　53981-6434-1

⚠ 注意

掃　除　口

**中に回転物がありケガをするので、
清掃時はエンジンを必ず止めること。
清掃後はフタを必ず閉じること。**

【R1-171AG・191AG・211AG】



⚠ 安全に作業するために

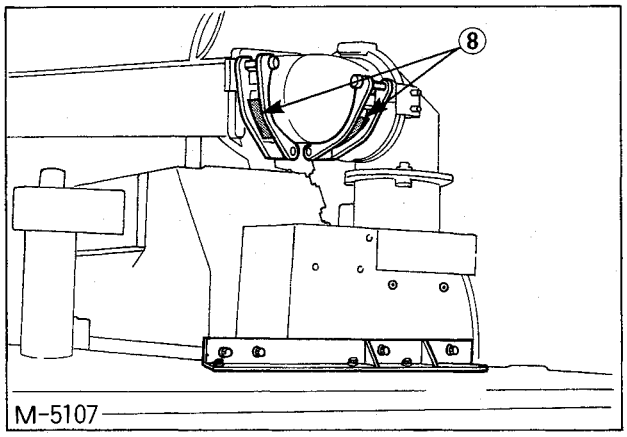
必ず読んで
ください。

⑧品番　58071-8174-1

⚠ 注 意

掃 除 口

中に回転物がありケガをするので、清掃時はエンジンを必ず止めること。清掃後はフタを必ず閉じること。

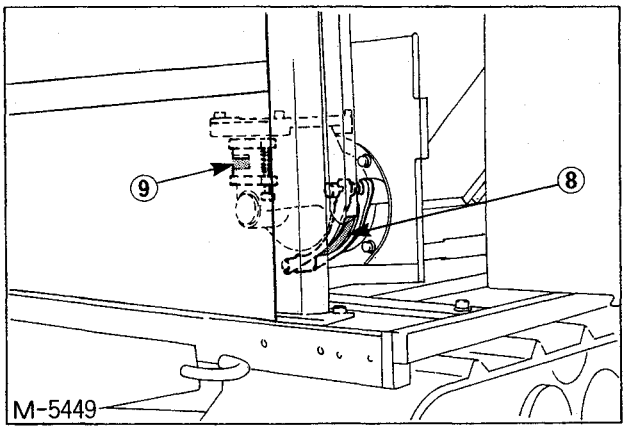


⑨品番　53981-6434-1

⚠ 注意

掃　除　口

中に回転物がありケガをするので、
清掃時はエンジンを必ず止めること。
清掃後はフタを必ず閉じること。



3．⚠表示ラベルの手入れ

(1)ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
　もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布でふいてください。
　シンナーやアセトンなどの溶剤を使うと，文字や絵が消えることがありますので絶対に使わないでください。
(2)破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼換えてください。
(3)ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。
(4)新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全にふき取り，乾いた後，もとの位置に貼ってください。

サービスと保証について

この製品には，保証書(R_1-211AGはサービスブック)が添付してありますのでご使用前によくご覧ください。

■ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた販売店・JA農協・弊社支店又は㈱クボタアグリにそれぞれ**“ご相談窓口”**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。

その際　(1)商品名と車台番号

(2)搭載機関の型式名と機関番号

を併せてご連絡ください。

なお，部品ご注文の際は，販売店・JA農協・弊社支店又は㈱クボタアグリに純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

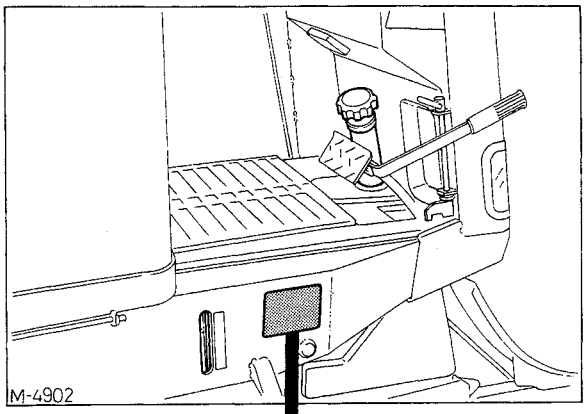
警　告

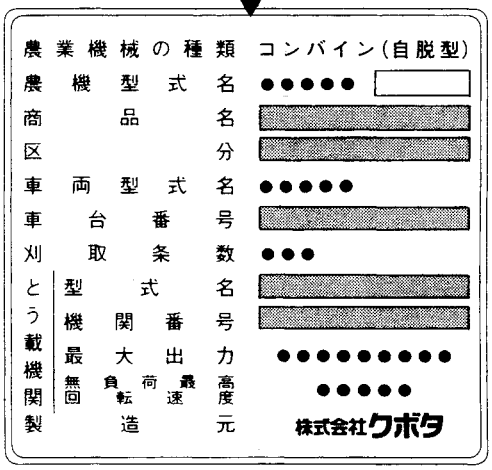
＊機械の改造は危険ですので，改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

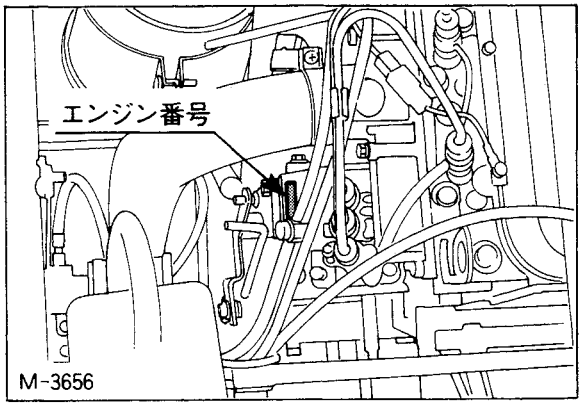
◆認定番号

安全鑑定・型式検査の農機型式名及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

商　品　名	農機型式名	安全鑑定番号
R_1-131AG	クボタR9301G	18121
R_1-151AG		
R_1-171AG	クボタR8806G	1308026
R_1-191AG		
R_1-211AG	クボタR9001G	1408019



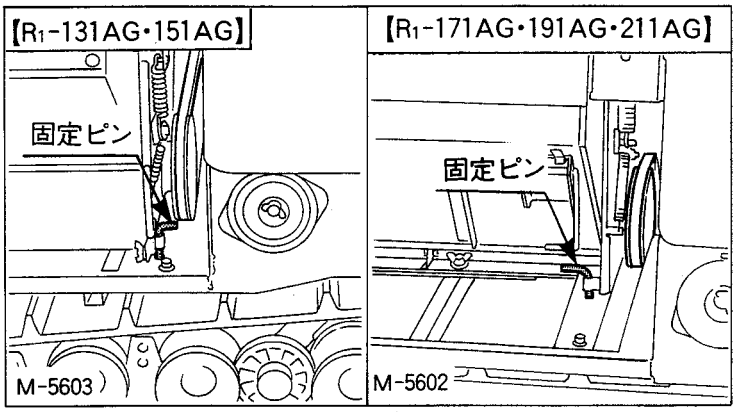


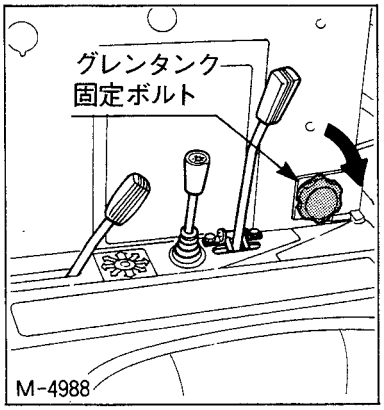


トラックへの積込み，積降し，道路走行，あぜ越え

注　意

＊グレンタンクは固定ピンとグレンタンク固定ボルトで確実に固定してください。





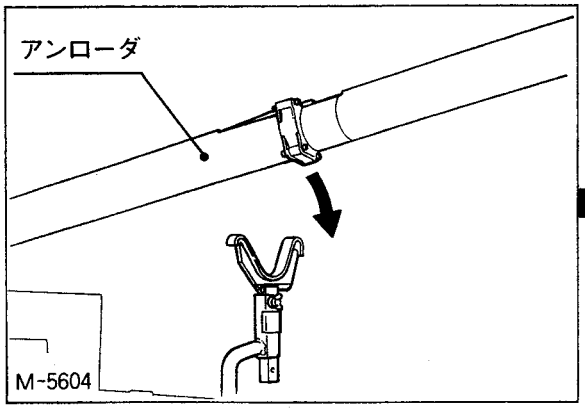
＊グレンタンクは必ず空にしてください。(こく粒が入っていると重心が高くなり危険です)

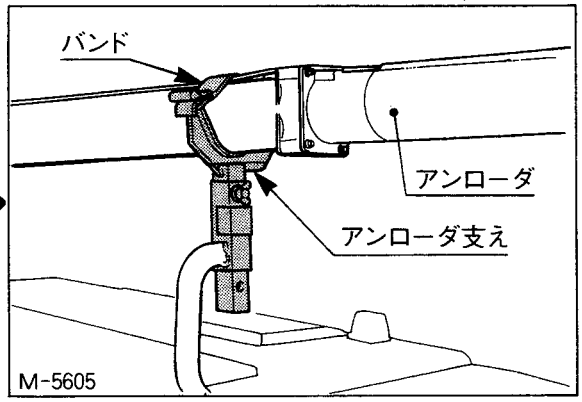
＊アンローダは，アンローダ支えに，確実に収納固定してください。

注　意

＊アンローダが中途半端な状態でのあぜ越え・走行・積込み・積降しは絶対にしないでください。

＊道路走行時はアンローダ支えを必ず下げてセットし，アンローダを確実に収納し，バンドで止めてください。



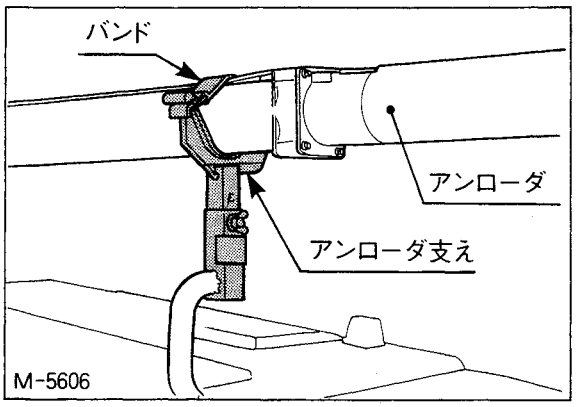


＊その他，本機の取扱説明書と同じ注意を守ってください。

刈取り作業

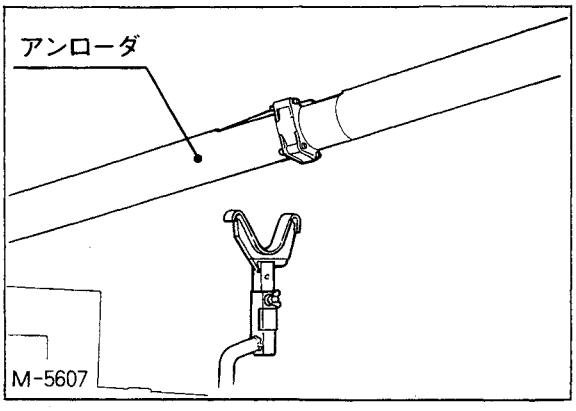
刈取り作業前の点検・準備

❶バンドを外し，アンローダ支えは上に上げてセットし，アンローダはアンローダ支えに確実に収納固定してください。

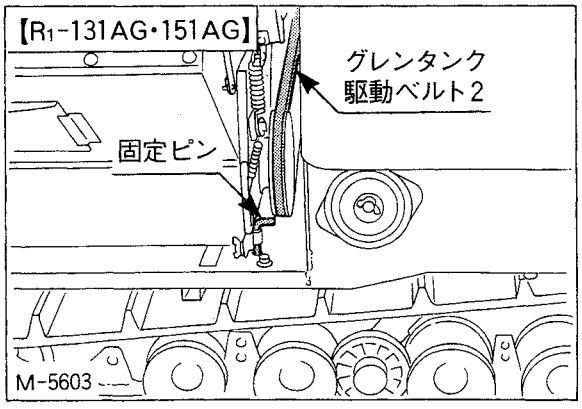


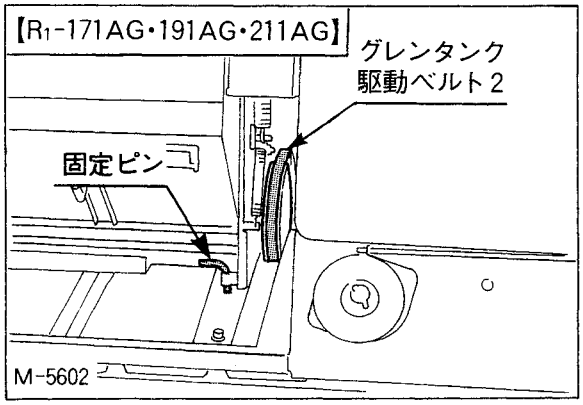
注　意

＊下図のように，アンローダが中途半端な状態での作業は絶対にしないでください。

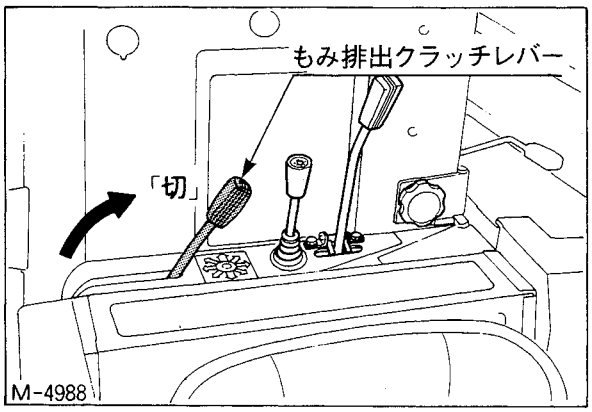


❷グレンタンク駆動ベルト２が外れていないか，固定ピンを差し忘れていないか，確認してください。

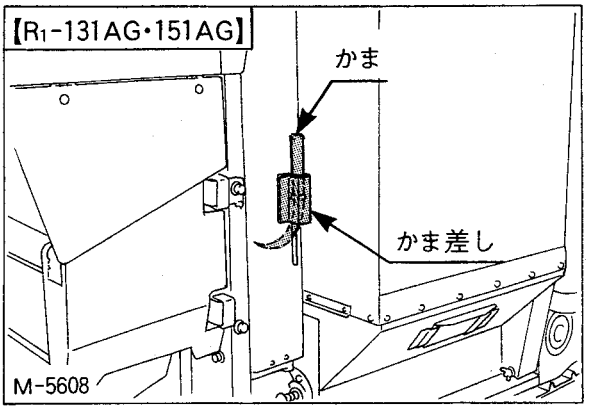


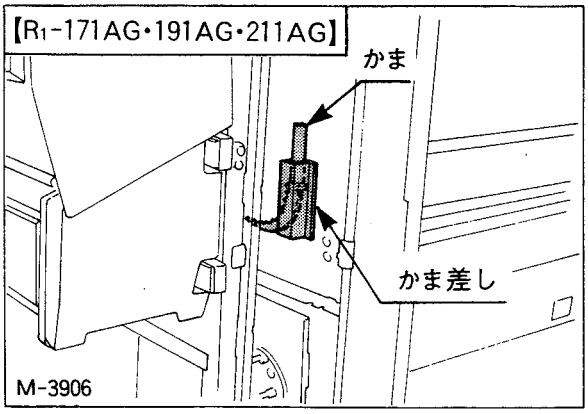


❸もみ排出クラッチレバーが「切」の位置にあるか確認してください。



＊かまは下図の所に取付けできます。



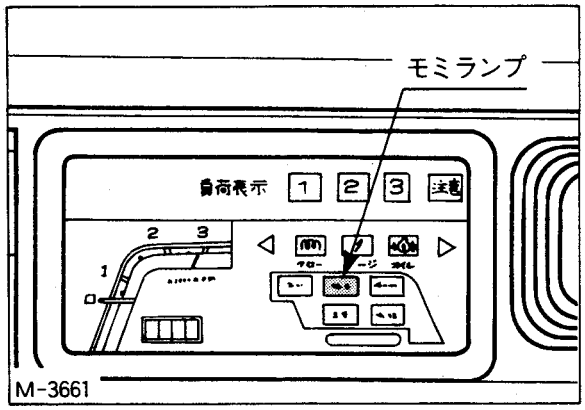


刈取り作業中の注意事項

❶損傷しやすい品種に対しては，本機取扱説明書の「コンバインの不調と処置」の項を参照して，調節してください。

❷雨などでほ場が湿田になったときは，ほ場を２周せずに１周でこく粒の排出をするなど，工夫してください。

❸タンクがいっぱいになるとイージーチェッカの「モミランプ」が点滅し，警報ブザーが断続して鳴ります。このときは直ちに刈取り作業を中止し，こく粒を排出してください。



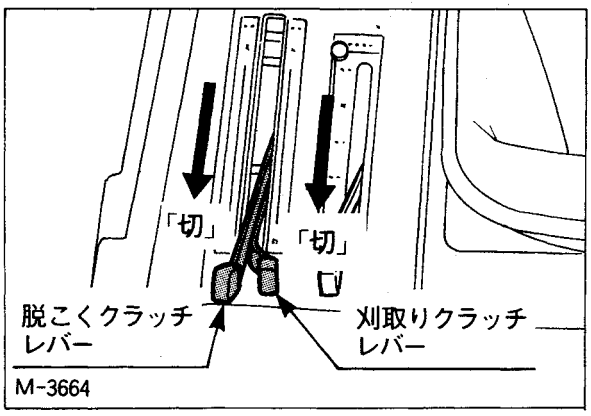
重　要

＊警報ブザーが鳴った後も刈取りを続けると，もみがあふれたり詰まったりして，故障の原因になります。

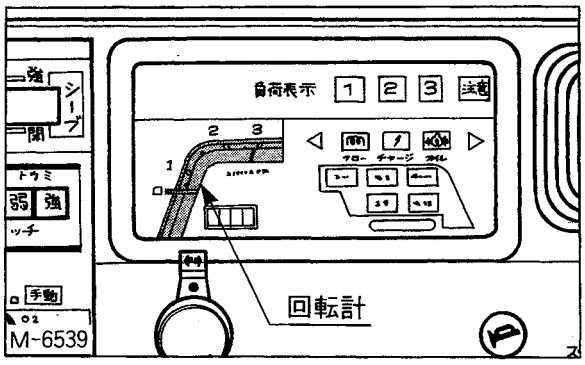
排出作業

排出のしかた

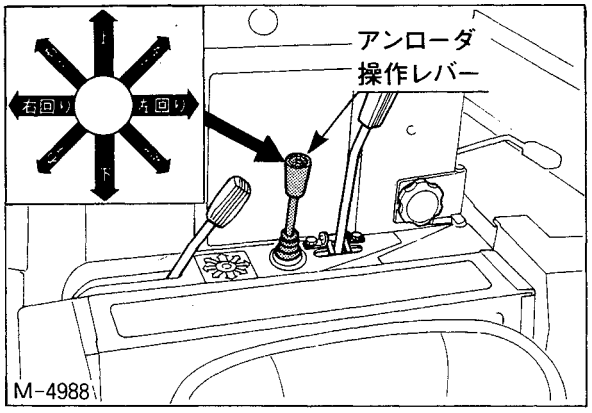
❶グレンタンクがいっぱいになり，警報ブザーが断続して鳴ると，直ちに刈取り作業を中止してください。このとき，刈取りクラッチレバー・脱こくクラッチレバーは「切」にし，所定の排出場所に移動してください。



❷排出は刈取り作業時の回転のままでしてください。損傷しやすい品種のときは，エンジン回転を少し低めで排出してください。このときエンジン回転数は，2000min^{-1}(rpm)以下にはしないでください。

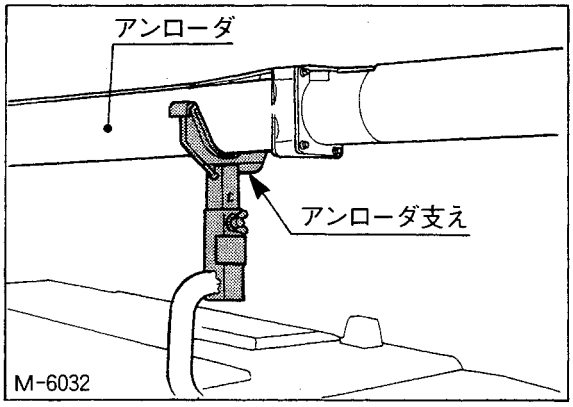


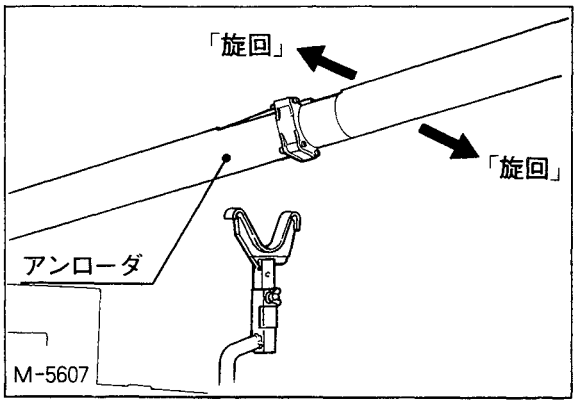
❸アンローダの上下，及び旋回はアンローダ操作レバー１本で操作できます。



操作レバーでアンローダが旋回しながら上下できるように，８方向に動きます。

❹アンローダは，アンローダ支えより上げてから旋回させてください。

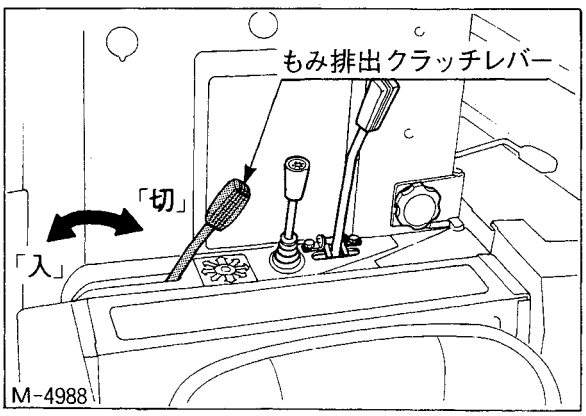




❺アンローダは左又は右旋回させて排出位置まで回してください。

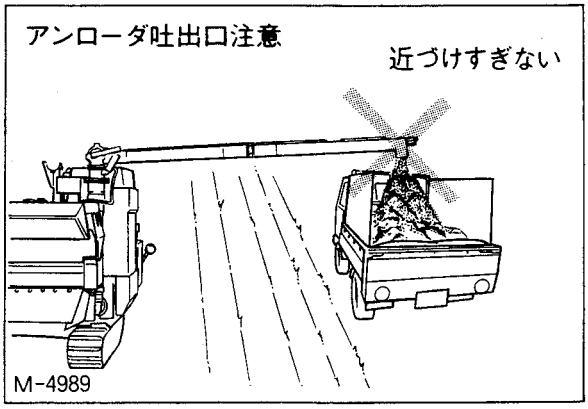
❻もみ排出クラッチレバーを「入」にするとこく粒が排出されます。

❼排出が終るともみ排出クラッチレバーを「切」にし，アンローダを左又は右旋回させてアンローダ支えに確実に収納固定してください。



重　要

＊アンローダ吐出口をふさがないでください。



＊アンローダには，絶対物を吊るさないでください。

◆アンローダが詰まった場合

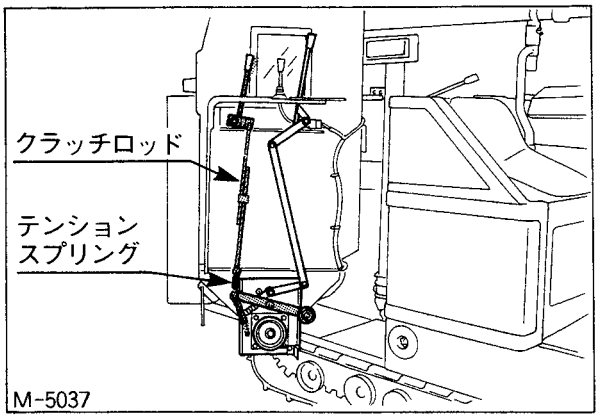
エンジンを停止し，原因を確めてください。

(1)異物がかみ込んでいる場合は，掃除口を開いて異物を取除き，異常がないか確認の上，再度もみ排出クラッチを入れてください。

(2)ベルトの駆動不足により，グレンタンク内にもみが一杯詰まっている場合は，下記の要領で調整してください。

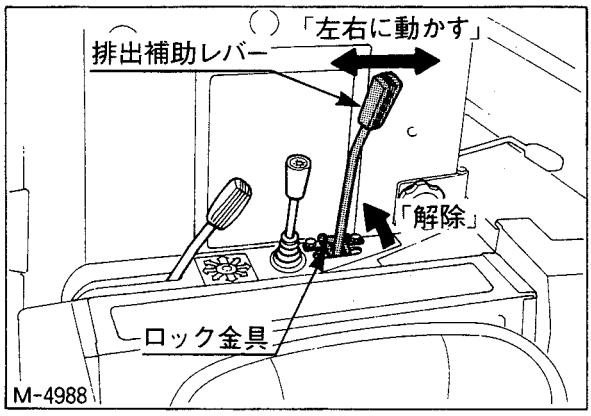
❶テンションクラッチのクラッチロッドの長さを張り気味に調整してください。

❷調整後，もみ排出クラッチレバーを「入」にして，こく粒を排出してください。



◆濡れもみでグレンタンク内でブリッジして流れない場合

ブリッジを起して流れない場合は，排出補助レバーを左右に２～３回動かしてください。(重い場合は少しずつ動かしてください。)



◆損傷が多い場合

エンジン回転を少し下げるか，排出量調整板を下げてください。

こく粒排出量の調節

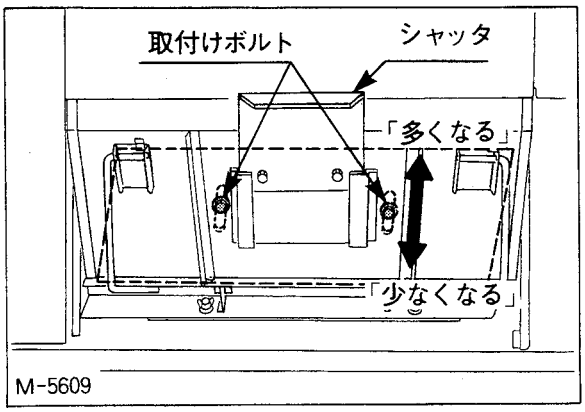
注　意

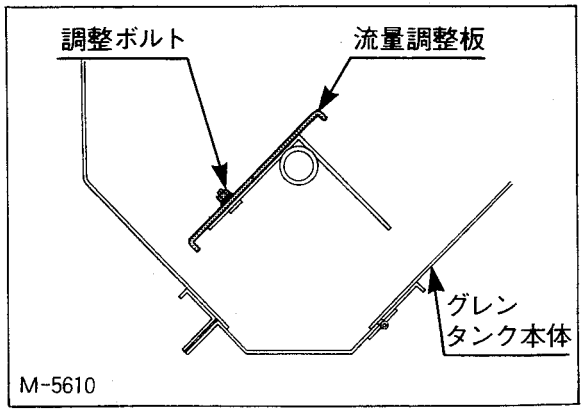
＊不意にスクリュが回転しケガをするおそれがありますので，エンジンを必ず停止して行なってください。

シャッタを開け，もみ取出し口より内部にある排出量調整板を取付けボルトをゆるめて上下に移動させることにより，排出量を変えることができます。

❶こく粒の流れが悪い場合は調整板を上げてください。

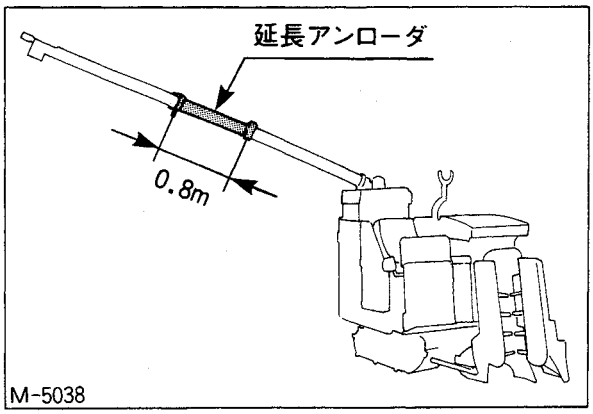
❷損傷のしやすい品種の場合は，調整板を下げてください。





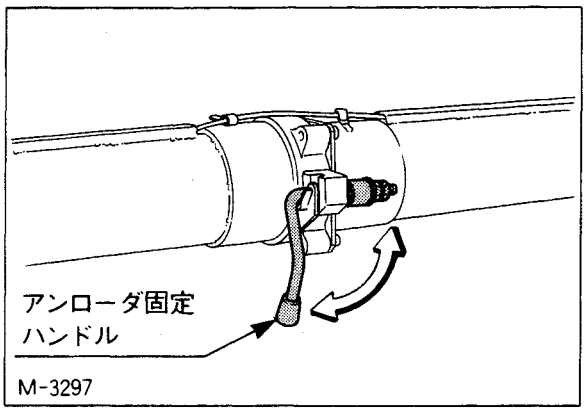
アンローダを延長するとき(オプション)

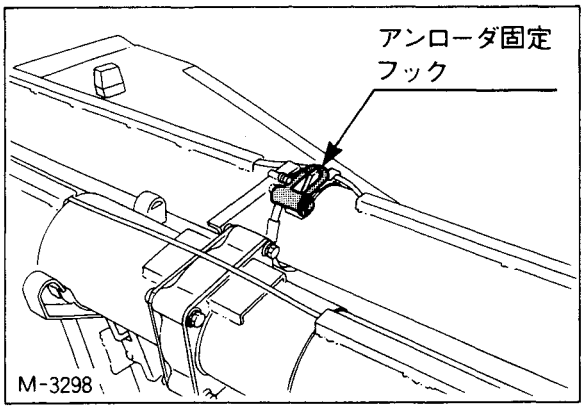
標準筒で届かない場合は延長アンローダをご使用ください。ただし，延長アンローダは１本のみです。



重　要

＊運搬，道路走行時には，必ず延長アンローダを折りたたみフックを確実にかけ，バンドで止めてください。(アンローダがコンバイン幅より出るため非常に危険です。)





脱こく機の点検をするとき

グレンタンクを開放するとき

注 意

＊傾斜地でのグレンタンクの開放は，点検時グレンタンクが勝手に回動することがあり，危険ですのでグレンタンクの開放は，平坦地で行なってください。

■グレンタンクが空の場合

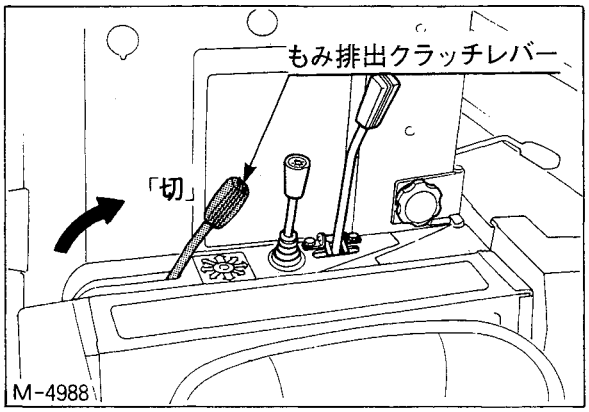
注 意

＊グレンタンクの開放は必ずグレンタンク内を空にしてから行なってください。

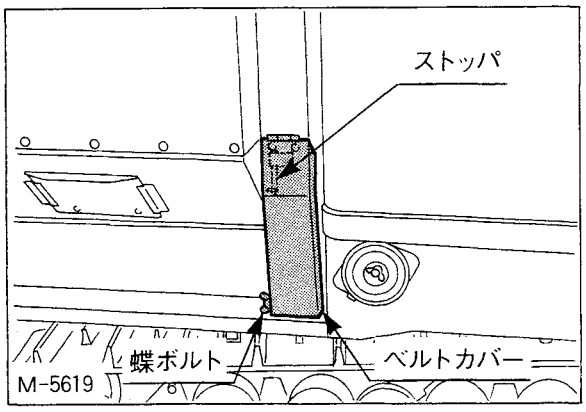
＊平坦な場所で各クラッチを「切」にし，エンジンを停止してください。

◆R_1-131AG・151AGの場合

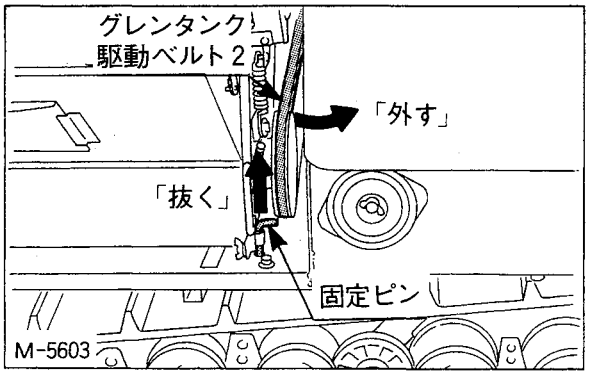
❶もみ排出クラッチレバーを，「切」にしてください。



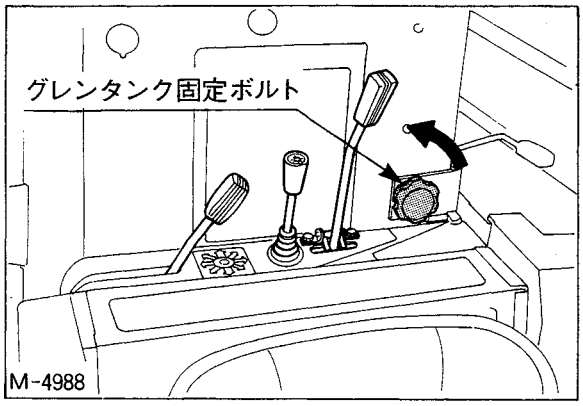
❷蝶ボルトをゆるめてベルトカバーを開け，ストッパでベルトカバーを固定してください。

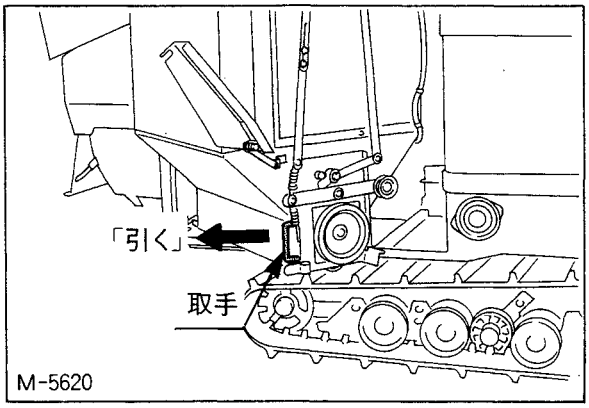


❸グレンタンク駆動ベルト2を外し，グレンタンク固定ピンを抜いてください。

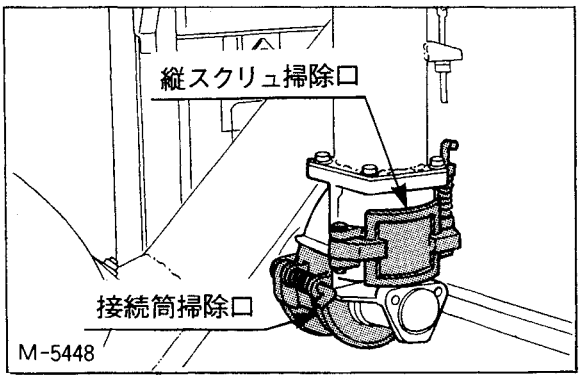


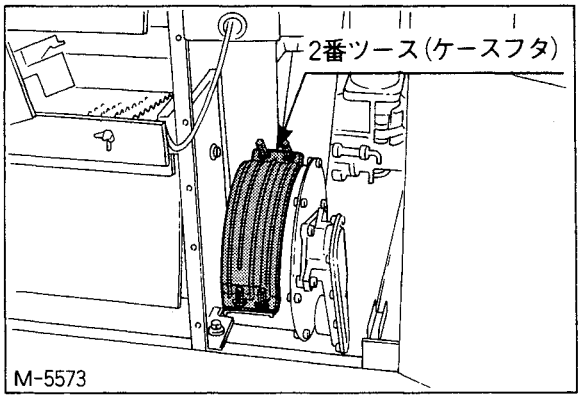
❹グレンタンク固定ボルトを外し，取手をもってグレンタンクを開いてください。





❺脱こく機の点検・清掃をしてください。

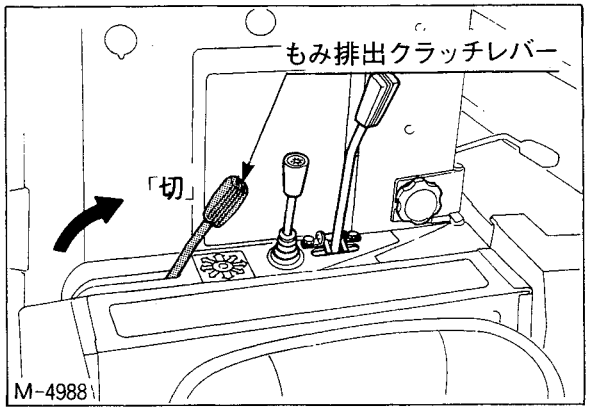




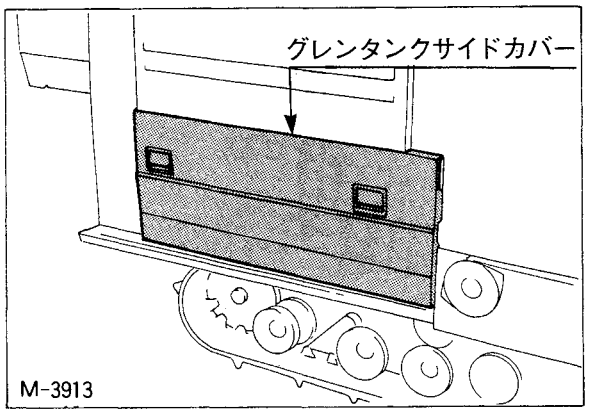
❻脱こく機の点検・清掃後は，前記の逆の順序でグレンタンクを閉じ，確実にグレンタンクを固定してください。このとき，グレンタンク駆動ベルト２をかけ忘れないよう注意してください。

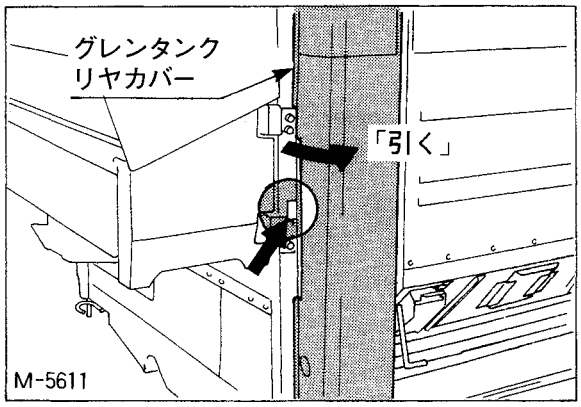
◆R_1-171AG・191AG・211AGの場合

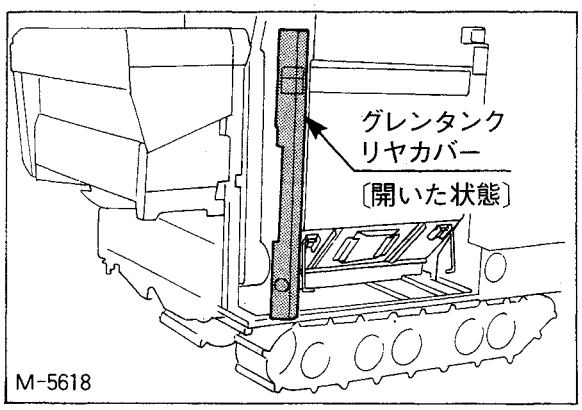
❶もみ排出クラッチレバーを，**「切」**にしてください。

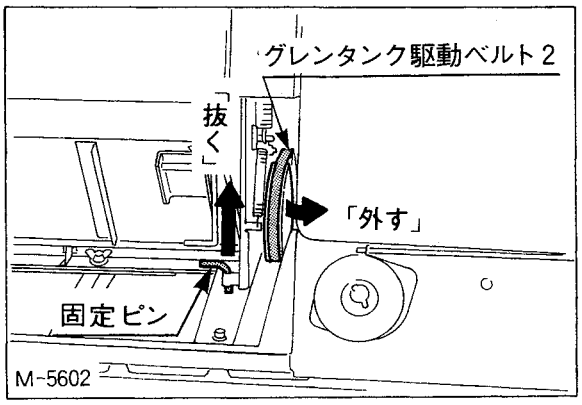


❷グレンタンクサイドカバーとグレンタンクリヤカバーを開け，グレンタンク駆動ベルト２を外し，グレンタンク固定ピンを抜いてください。

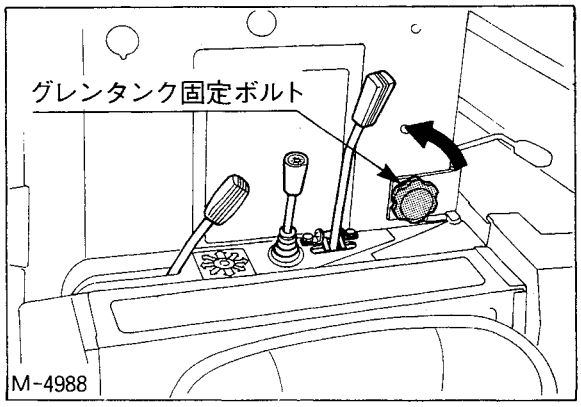


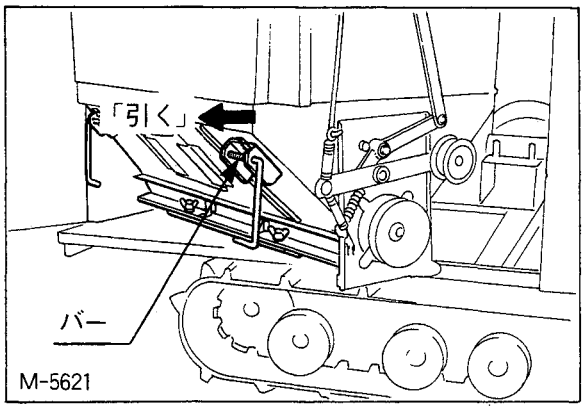




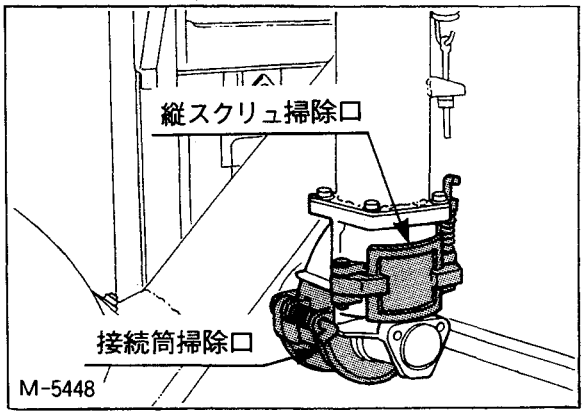


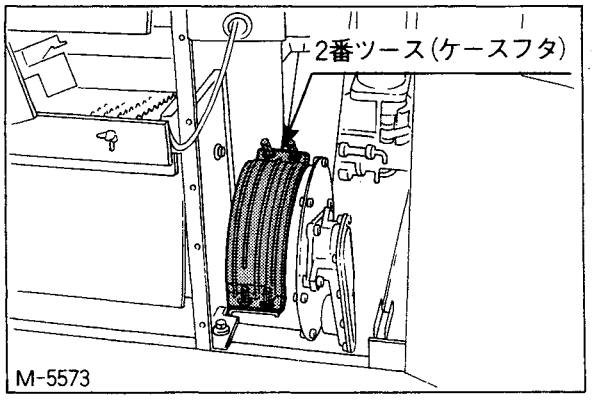
❸グレンタンク固定ボルトを外し，バーをもってグレンタンクを開いてください。





❹脱こく機の点検・清掃をしてください。





❺脱こく機の点検・清掃後は，前記の逆の順序でグレンタンクを閉じ，確実にグレンタンクを固定してください。このとき，グレンタンク駆動ベルト２をかけ忘れないよう注意してください。

■グレンタンクにこく粒が入っている場合

◆グレンタンクにこく粒が入っていて，脱こく機の二番スロワが詰まっている場合

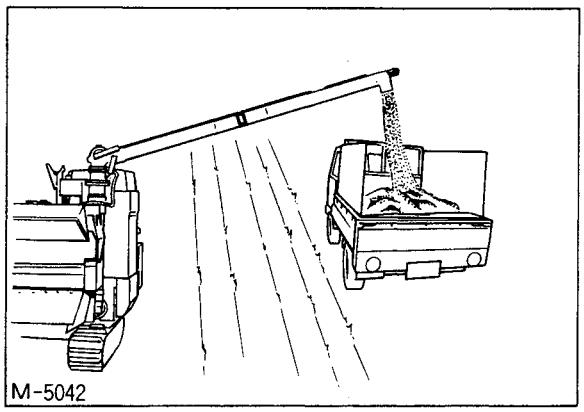
注　意

＊平坦な場所で各クラッチを「切」にし，エンジンを停止してください。

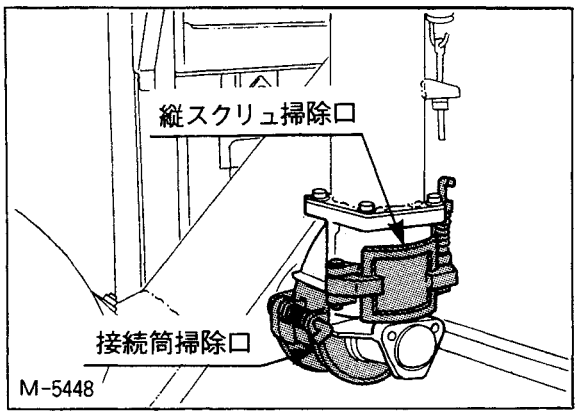
まず，次の手順でグレンタンクの中のこく粒を排出してください。

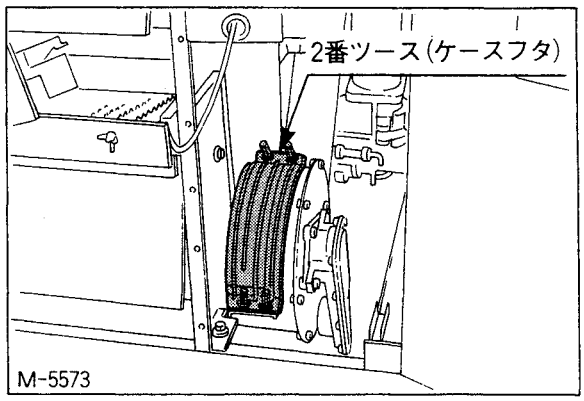
❶アンローダを所定の位置にセットしてください。

❷もみ排出クラッチレバーを操作して通常の排出作業を行なってください。
(「排出作業」の項参照)



❸こく粒排出が終ったら，エンジンを停止しグレンタンクを開放して二番詰まりを取除いてください。





保守点検

警　告

＊各部の調整，点検，及び交換を行なうときは，エンジンを必ず止めてから行なってください。

注　意

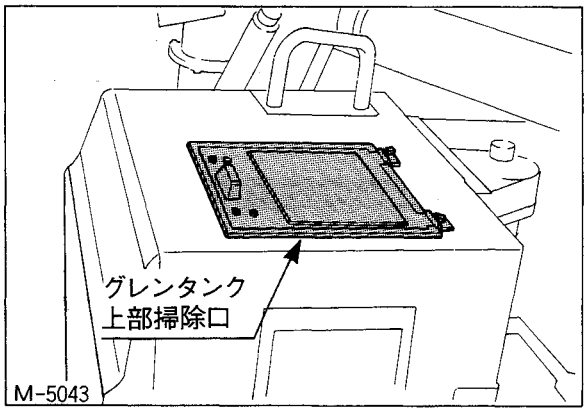
＊空運転するときは，必ずグレンタンクを閉じてください。

■グレンタンク内残留こく粒の掃除

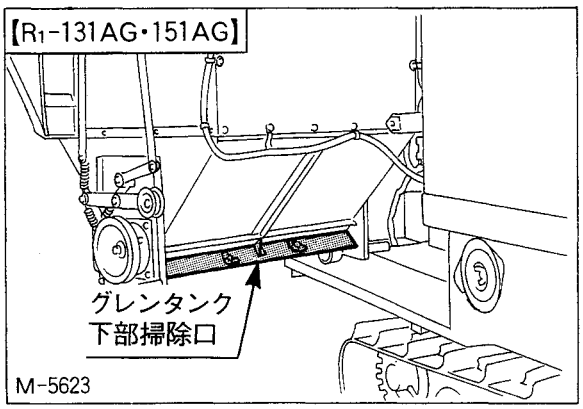
品種や稲・麦の混合を避けたいときや，収穫シーズンが終ったときは，グレンタンク・アンローダ内の残留こく粒，及びわらくずをきれいに取除いてください。

掃除口の箇所

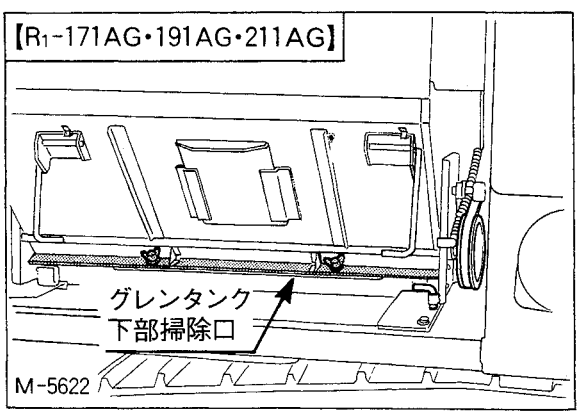
●グレンタンクの掃除口



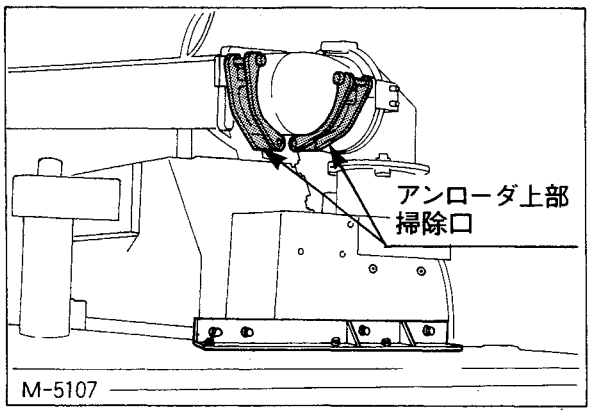
【R1-131AG・151AG】

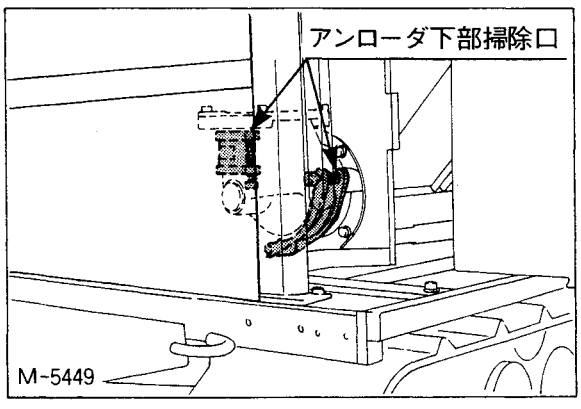


【R1-171AG・191AG・211AG】



●アンローダの掃除口



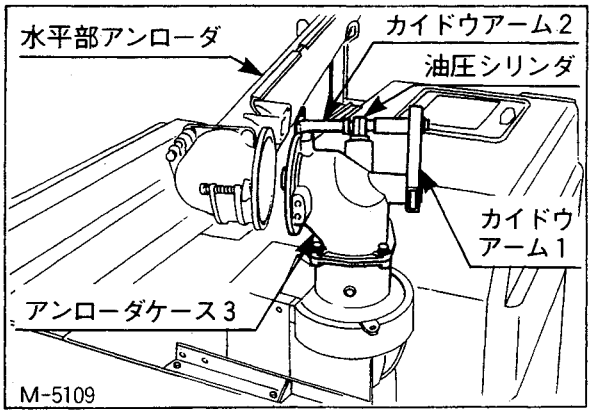


グレンタンクを降ろす場合

❶グレンタンクとライトハーネスの結線を外してください。

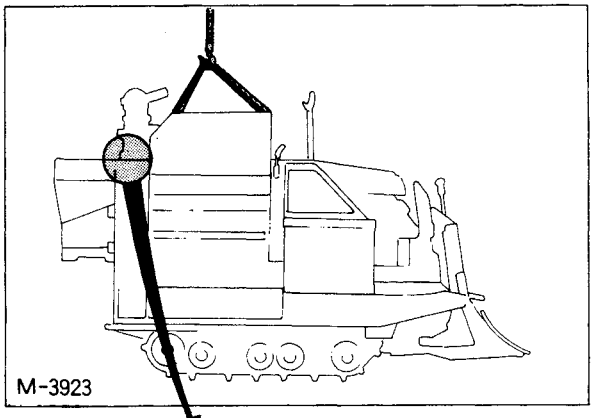
❷カイドウアーム２の取付けボルト(４本)を外し，水平部アンローダを横に抜いて取外してください。
このとき，油圧シリンダが残圧で浮上らないよう，最下位置でアンローダ操作レバーを５秒程度下げた状態に保持してから行なってください。

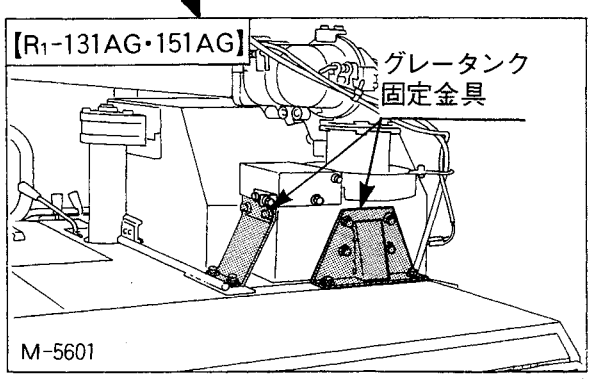
❸油圧シリンダ部の割りピン及び頭付きピンを抜いて，カイドウアーム１，２と共に油圧シリンダを取外してください。

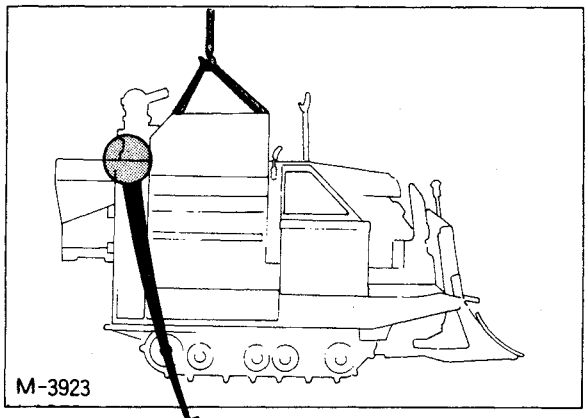


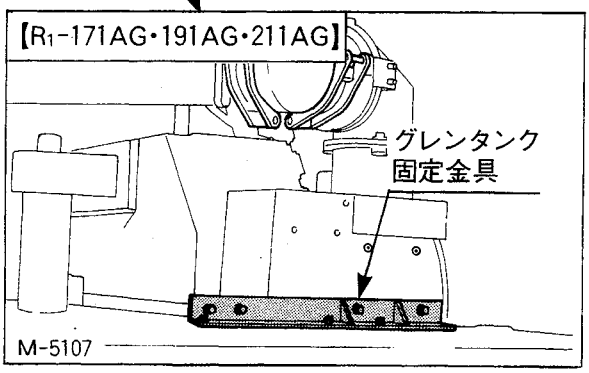
❹グレンタンクを開き，脱こく部に接続されているグレンタンクハーネスのカプラを外してください。

❺以上の状態でグレンタンクを軽く吊り，グレンタンク固定金具を取外してください。その後，回りに注意しながらゆっくりとグレンタンクを吊上げてください。









組付けするときの注意事項

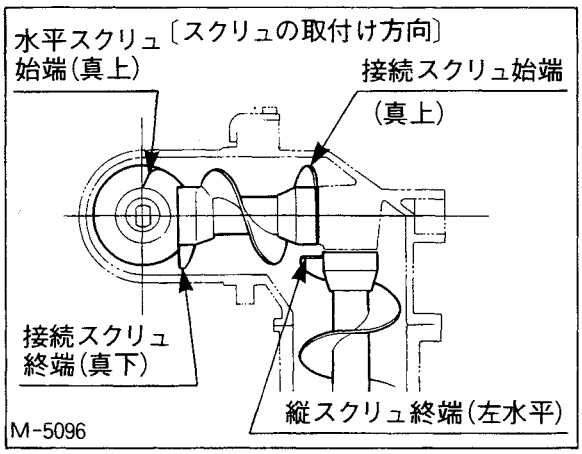
水平部アンローダを分解し，再度組付けするときは，スクリュの位置が下記の位置になるように組付けてください。

(1)縦スクリュ終端部が，左水平側にくるようにセットします。

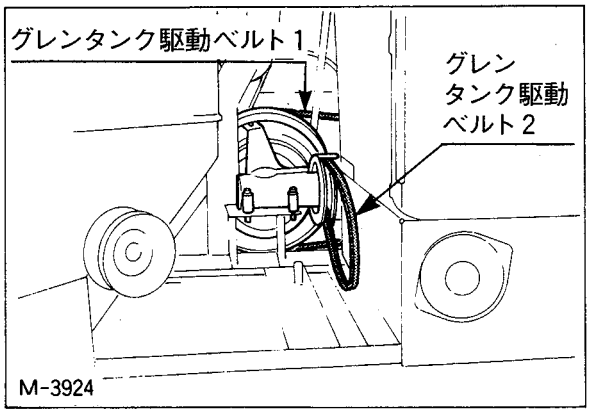
(2)接続スクリュ始端部が，真上になるように組付けます。

(3)水平スクリュ始端部が，真下になるようにセットします。

(4)上記位置関係が狂わないように縦アンローダと水平アンローダを組付けてください。

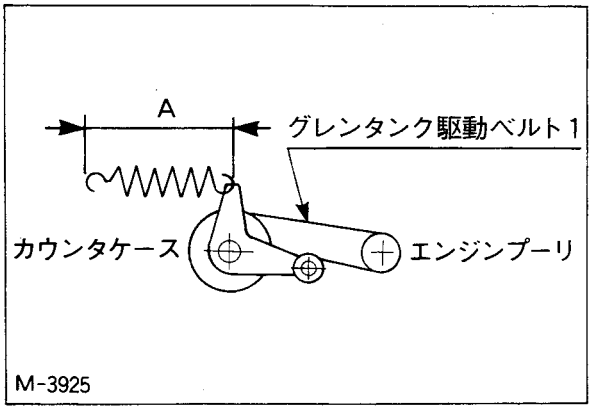


グレンタンク駆動ベルトの張り調整



■グレンタンク駆動ベルト1

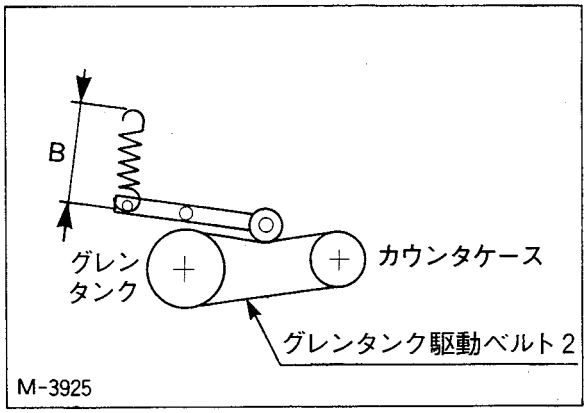
スプリングの取付け長さが下記の表のようになるように張りボルトで調整してください。



	A	ベルトサイズ
R_1-131AG R_1-151AG	213㎜	特B57
R_1-171AG R_1-211AG	160㎜	特B63
R_1-191AG		特B64

■グレンタンク駆動ベルト2

クラッチ「入」のときのスプリングの長さが下記の表のようになるようにターンバックルで調整してください。

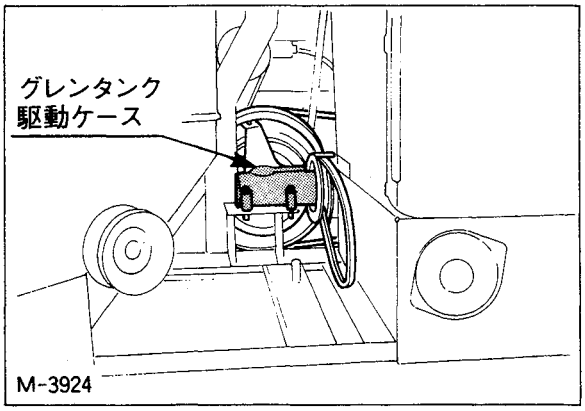


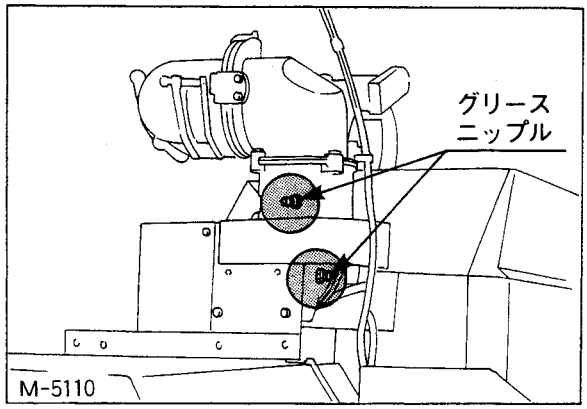
	B	ベルトサイズ
R_1-131AG R_1-151AG	109㎜	特B35.3
R_1-171AG R_1-191AG		特B33
R_1-211AG		特B35.3

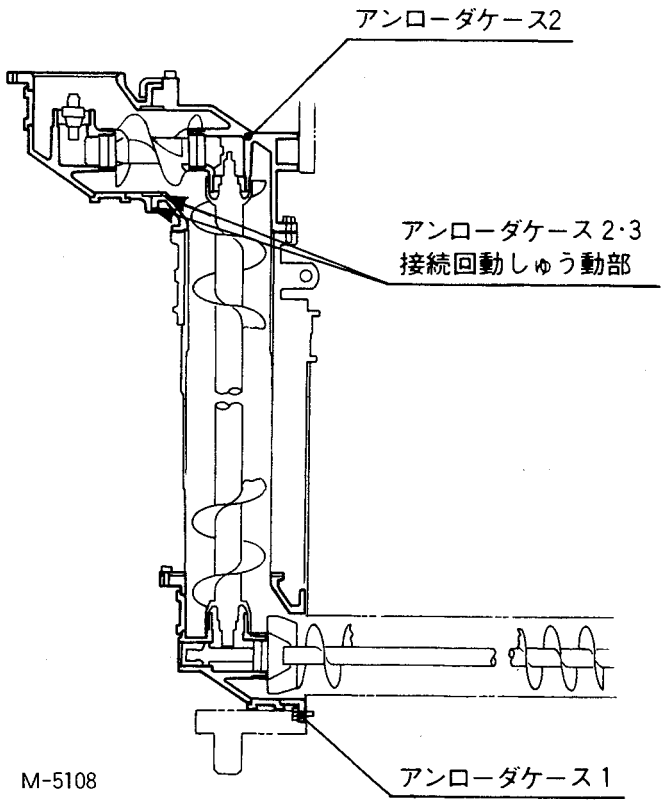
各部グリースの補給

❶長期格納前にアンローダ回動部にクボタスペアグリースを補給してください。
- ●水平回動ケース

❷分解時にクボタスペアグリースを補給してください。
- ●グレンタンク駆動ケース　50g
- ●アンローダケース１　25g
- ●アンローダケース２　25g
- ●アンローダケース３　25g
- ●アンローダケース２・３
  接続回動しゅう動部　塗布







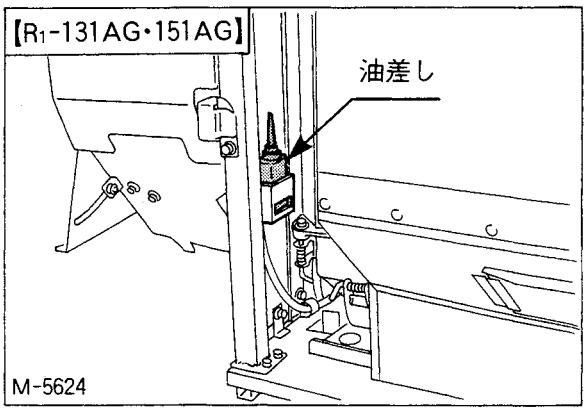
付　表

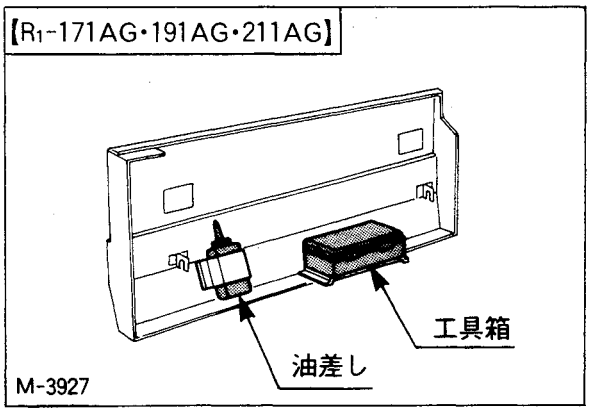
主要諸元

農機型式名			クボタR9301G				クボタR8806G				クボタR9001G
名称			R_1-131AG		R_1-151AG		R_1-171AG		R_1-191AG		R_1-211AG
区分			R_1-131AG-KW	R_1-131AG-HDW	R_1-151AG-KW	R_1-151AG-HDW	R_1-171AG-KW	R_1-171AG-HDW(V)	R_1-191AG-KW	R_1-191AG-HDW(V)	R_1-211AG-HDW(V)
機体寸法	全長(mm)		3085				3240				3400
	全幅(mm)		1640				1665				1680
	全高(mm)		1957				1970				
質量(kg)			1085	1100	1090	1105	1225	1245	1240	1260	1365
こく粒グレンタンク	グレンタンク容量(L)		430(8袋)				490(10袋)				560(11袋)
	排出高さ(m)	標準	1.77～3.76				1.78～3.77				
		延長	1.77～4.33				1.78～4.34				
	排出長さ(m)	標準	2.04～2.81				2.04～2.81				
		延長	2.61～3.61				2.61～3.61				
	排出時間S(秒)		120								150
	排出方式		スクリュコンベア式								
	昇降角度(度)		0(水平)～45								
	旋回角度(度)		左旋回100，右旋回200								
	旋回操作方式		電動式								
	昇降操作方式		油圧式								
	排出操作方式		ベルトクラッチ方式								
	メンテナンス		グレンタンクフルオープン・掃除口ワンタッチ開閉式								
走行部	クローラ形式		S形スーパクローラ								
	クローラ幅×接地長(mm)		330×1012				330×1190				360×1190
	クローラ中心距離(mm)		775								805
	平均接地圧 MPa(kgf/cm²)		0.016 (0.162)	0.016 (0.165)	0.016 (0.163)	0.016 (0.165)	0.015 (0.156)	0.016 (0.159)	0.016 (0.158)	0.016 (0.160)	0.016 (0.159)

標準付属品

標準付属品の工具箱と油差しは，サイドカバーの下図の位置に取付けてください。
R_1-131AG・151AGは工具箱のかわりに工具袋が標準付属です。



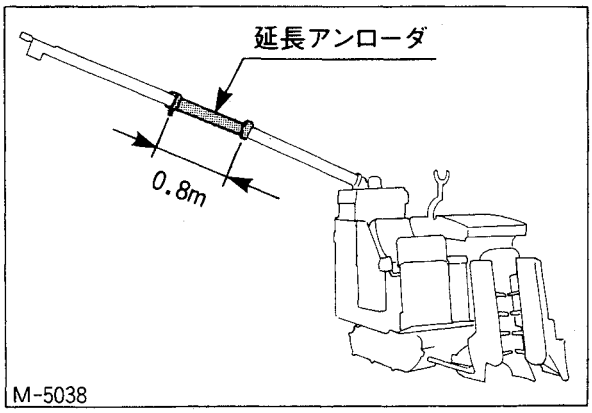


特別付属品(別売)

■延長アンローダアッシ

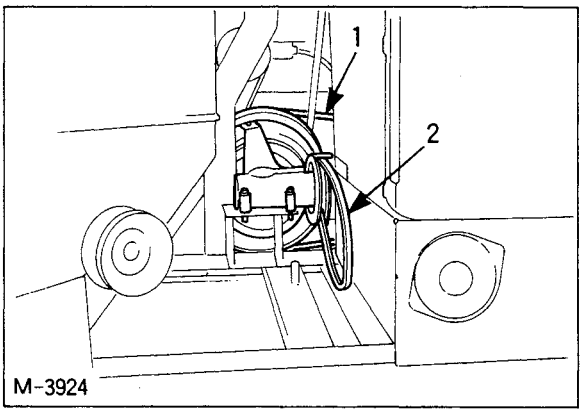
延長アンローダを簡単に取付けることができ，遠くて高い所に排出できます。

品　番	品　名
58070-9110-1	延長アンローダアッシ



主な消耗部品一覧表

図番	品　名	品　番	個数/台
1	特B57ベルト【R_1-131AG・151AG】	56961-7162-2	1
	特B64ベルト【R_1-191AG】	52330-7162-2	1
	特B63ベルト【R_1-171AG・211AG】	52310-7162-2	1
2	特B33ベルト【R_1-171AG・191AG】	58070-7123-1	1
	特B35.3ベルト【R_1-131AG】【R_1-151AG】【R_1-211AG】	58080-7123-2	1



補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は製造打ち切り後９年といたします。
ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

株式会社クボタ

本社	大阪市浪速区敷津東１丁目２番47号	〒556	電(06)	648-2111
東京本社	東京都中央区日本橋室町３丁目１番３号	〒103	電(03)	3245-3111
北海道支社	札幌市中央区北３条西３丁目１番地44(札幌富士ビル)	〒060	電(011)	214-3111
東北支社	仙台市青葉区本町２丁目15番11号	〒980	電(022)	267-9000
中部支社	名古屋市中村区名駅３丁目22番８号(大東海ビル)	〒450	電(052)	564-5111
九州支社	福岡市博多区博多駅前３丁目２番８号(住友生命博多ビル)	〒812	電(092)	473-2401
札幌支店	札幌市西区西町北16丁目１番１号	〒063	電(011)	662-2121
仙台支店	名取市田高字原182番地の１	〒981-12	電(022)	384-5151
東京支店	浦和市西堀５丁目２番36号	〒338	電(048)	862-1121
大阪支店	大阪府堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号	〒590	電(0722)	41-8506
岡山支店	岡山市宍甘275番地	〒703	電(0862)	79-4511
福岡支店	福岡市東区和白丘２丁目２番76号	〒811-02	電(092)	606-3161
堺製造所	堺市石津北町64番地	〒590	電(0722)	41-1121
宇都宮工場	宇都宮市平出工業団地22番地２	〒321	電(0286)	61-1111
筑波工場	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(0297)	52-5112
枚方製造所	枚方市中宮大池１丁目１番１号	〒573	電(0720)	40-1121
西日本総合部品センター	堺市築港新町３丁８番	〒592	電(0722)	45-8601
東日本総合部品センター	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(0297)	52-0510
北海道部品センター	北海道札幌郡広島町大曲工業団地３丁目１番地	〒061-12	電(011)	376-2335
九州部品センター	福岡市東区和白丘２-２-76	〒811-02	電(092)	606-3161
株式会社クボタアグリ東北				
秋田事業所	秋田市寺内字大小路207-54	〒011	電(0188)	45-1601
仙台事業所	宮城県名取市田高字原182-１	〒981-12	電(022)	384-5151
株式会社クボタアグリ東京				
東京事業所	浦和市西堀５-２-36	〒338	電(048)	862-1121
新潟事業所	新潟市上所上１-14-15	〒950	電(025)	285-1261
株式会社クボタアグリ大阪				
金沢事業所	石川県松任市下柏野町956-１	〒924	電(0762)	75-1121
名古屋事業所	愛知県一宮市観音町１-１	〒491	電(0586)	24-5111
大阪事業所	大阪府堺市緑ヶ丘北町１丁１番36号	〒590	電(0722)	41-8550
株式会社クボタアグリ中四国				
米子事業所	米子市米原７丁目１番１号	〒683	電(0859)	33-5011
岡山事業所	岡山市宍甘275	〒703	電(0862)	79-4511
高松事業所	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-３	〒769-01	電(0878)	74-5091
株式会社クボタアグリ九州				
福岡事業所	福岡市東区和白丘２-２-76	〒811-02	電(092)	606-3161
熊本事業所	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-１	〒861-41	電(096)	357-6181

品番　52330—8542—4

Kubota